

【お知らせ】

R20TS0134JJ0100

Rev.1.00

2017.02.16 号

オンチップエミュレータ E2 エミュレータ Lite, E1, E20 を 使用した RX マイコンのデバッグ・コンソール機能のご紹介

概要

オンチップエミュレータ E2 エミュレータ Lite(以降 E2 Lite)、E1、E20 を使用した、RX マイコンのデバッグや検査時に役立つデバッグ・コンソール機能についてご紹介します。

E2 Lite、E1、E20 の機能の詳細およびシステム構成などについては、以下の URL をご参照ください。
<https://www.renesas.com/ocd>

1. E2 Lite、E1、E20 を使用した RX マイコンのデバッグ・コンソール機能



E2エミュレータLite



E1



E20

➤ 機能概要

RX マイコンのデバッグ・コンソール機能は、標準入出力(printf/scanf)を使用して任意の文字の入出力が可能です。また、オンチップエミュレータ経由で情報の入出力を行うためマイコンの UART 機能を占有しません。

デバッグ・コンソール機能は、以下のような場合のご使用に、とても便利な機能です。

- ・プログラムの特定箇所、変数や SFR を取得し、任意の形式でログに残したい。
- ・プログラムのテストなどの目的で、プログラムの特定箇所、任意のデータを与え、制御を変えたい。
- ・トレースの機能の容量を超えた長時間のプログラムフローを記録したい。

➤ デバッグ・コンソール機能の使用方法

RX マイコンのデバッグ・コンソール機能の操作は、E2 Lite、E1 および E20 で共通です。

E2 Lite、E1 および E20 は、統合開発環境 CS+または e² studio のいずれかと組み合わせて動作可能です。CS+および e² studio における使用方法については、以下をご参照ください。

● CS+の場合

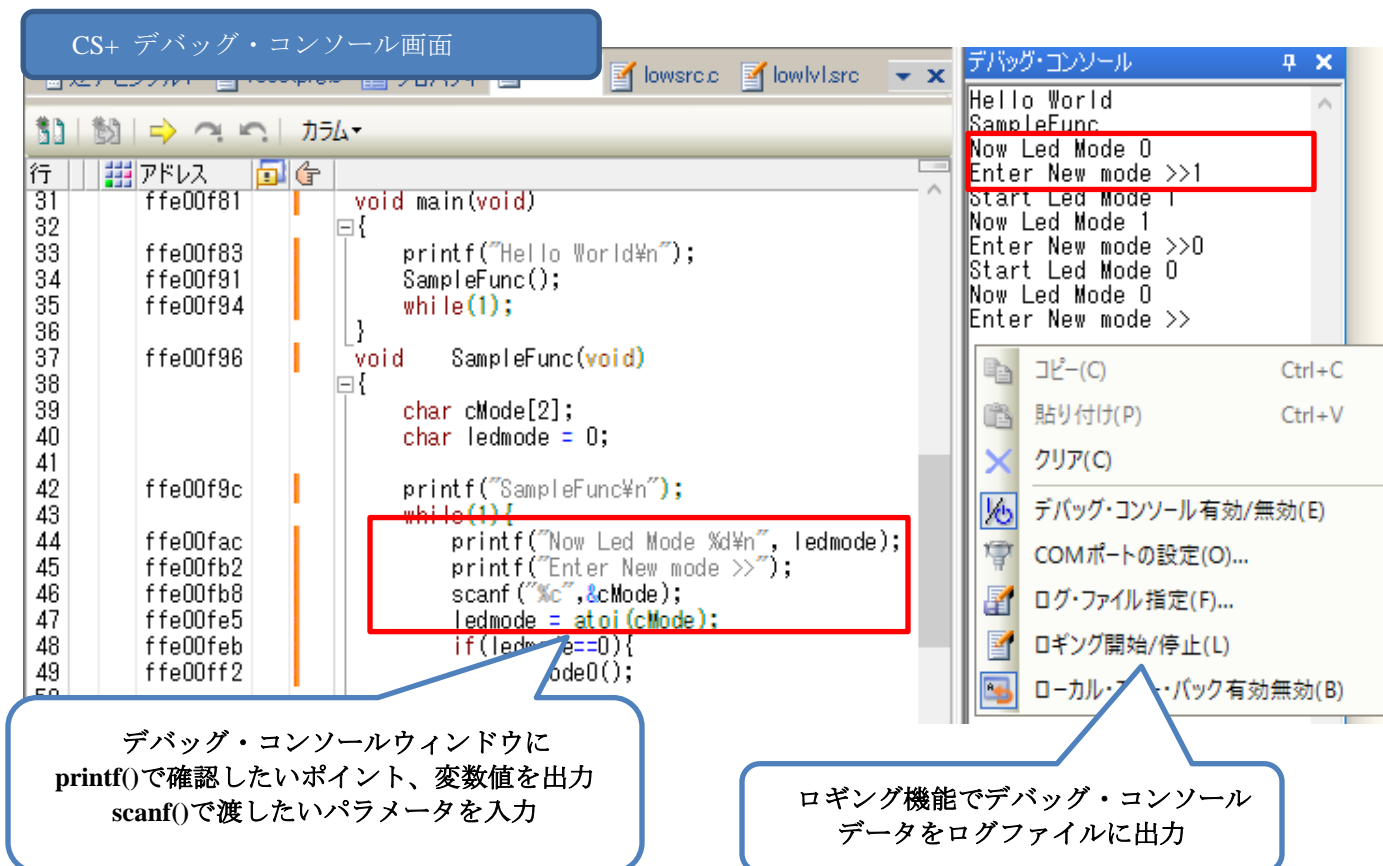
CS+のヘルプまたはオンラインヘルプの「デバッグ・コンソールの使用」の章をご参照ください。

・ CS+のヘルプ

RX[CC-RX 環境] > デバッグツール編 > 機能 > デバッグ・コンソールの使用

・ CS+ のオンラインヘルプ トップページ

<https://www.renesas.com/tool-help/ja-JP/index.html>

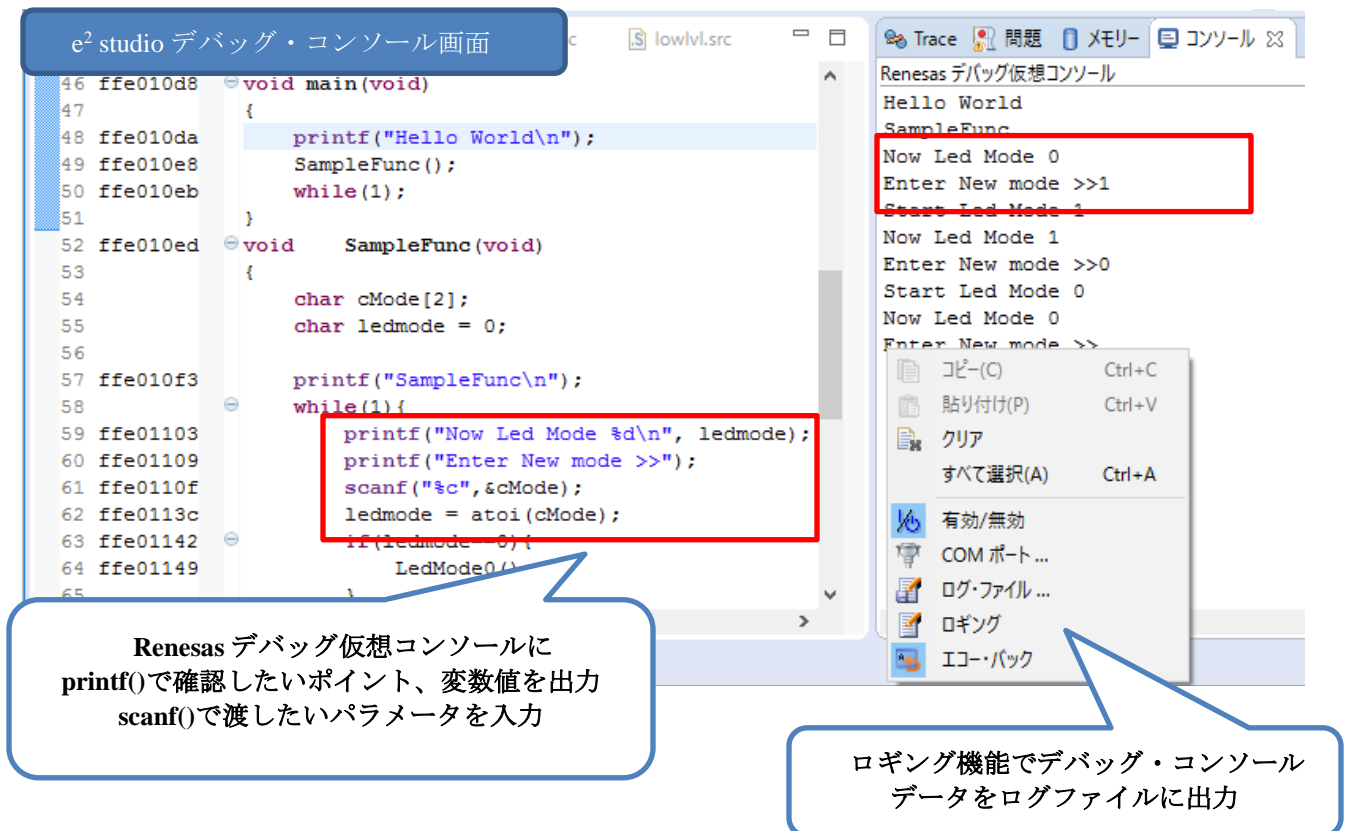


- e² studio の場合

以下の FAQ をご参照ください。

- ・ FAQ3000062 (e² studio) コンソール表示で printf デバッグする方法

<https://support.renesas.com/hc/ja/articles/115000388648-FAQ-3000062>



2. デバッグ・コンソール機能サポート RX マイコン

- RX ファミリすべてのマイコン

3. 購入方法

ご注文の際には、以下の情報を最寄りの弊社営業または特約店までご連絡ください。価格についても、同様にお問い合わせください。

| | 製品型名 | 受注型名 |
|---------|---------------------|------|
| E2 Lite | RTE0T0002LKCE00000R | 同左 |
| E1 | R0E000010KCE00 | 同左 |
| E20 | R0E000200KCT00 | 同左 |

以上

改訂記録

| Rev. | 発行日 | 改訂内容 | |
|------|------------|------|------|
| | | ページ | ポイント |
| 1.00 | 2017.02.16 | - | 新規発行 |
| | | | |

ルネサスエレクトロニクス株式会社
 〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

■総合お問い合わせ先
<https://www.renesas.com/contact/>

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。